

MITSUBISHI

三菱電機 空調管理システム

MEリモコン PAR-F29ME 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この説明書は三菱電機空調管理システム、直立式マルチエアコン室内ユニットに接続しますMEリモコンの据付工事についてのみ記載しております。よくお読みのうえ、正しく据付けてください。なお空調機本体への配線、および空調機本体の据付工事に関しては、空調機本体の据付説明書をご覧ください。

1 安全のために必ず守ること

- 据付工事はこの「安全のために必ず守ること」をお読みのうえ、確実に行って下さい。
 - 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。
- ▲警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。
- ▲注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの
- お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡し下さい。
 - お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の際は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡し下さい。

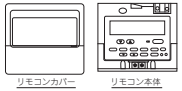
警告	
据付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自分で据付工事をして不備があると、感電、火災等の原因になります。	据付工事は、この据付工事説明書に従い確実にこなす。 据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。
据付けは、十分に耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。	電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電機移設に関する技術基準」(内線規定)、及び本説明書に従い施工する。 お客様自己で移設はしない。 据付工事に不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご相談下さい。
配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続が固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。	配線は電圧容量にあった規格品の電線を使用すること。 漏電や発熱、火災の原因になります。
改造、修理は絶対しない。 改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。 修理はお買上げの販売店にご相談ください。	濡れた手でボタンを操作しない。 感電、故障の原因になります。

注意	
可燃性ガスが漏れる恐れのある場所へ据付けない。 万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。	浴室など大量の湯気が発生する所には据付けない。 水のかかる場所、壁が結露するような場所を避けてください。感電、故障の原因になります。
特殊環境には使用しない。 油(機械油を含む)、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用すると性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。	酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等薬剤を使用するところは据付けない。 感電、故障の原因になります。
病院、通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。 インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になり、本機から医療機器等には通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。	配線は電圧容量にあった規格品の電線を使用すること。 漏電や発熱、火災の原因になります。
配線は強力がからないように配線工事を行なう。 断線したり、発熱、火災の原因になります。	濡れた手でボタンを操作しない。 感電、故障の原因になります。
リモコンケーブル引き込み口を、パテで確実にシールする。 塵、水、コブクリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因となることがあります。	本機を水洗いしない。 感電、故障の原因になります。
本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。 変形、故障の原因となることがあります。	ボタンを先のとがった物で押さない。 火災、感電の原因となります。
AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。リモコンへの印加電圧は最大で30Vです。破壊、発火、火災の原因となります。	

2 部品確認

箱の中には、この説明書他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

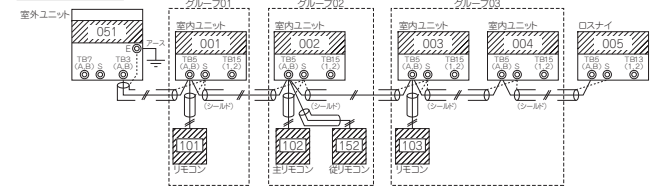
1. リモコン (カバー、本体) 1
2. 十字穴付きネジ M4×30 2
3. 本ネジ M4.1×16 (壁に直接据付ける時使用) 2
4. 取扱説明書 1



1

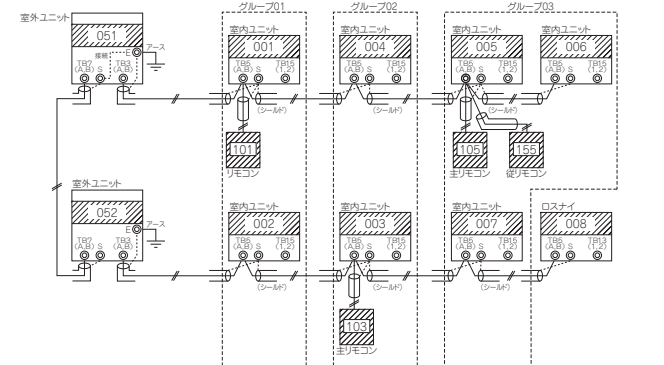
3 伝送線配線

1. 単一冷媒系統の場合



- ①リモコンからの配線
 - ・室内ユニットのTB5 (室内伝送線用端子台) へ接続します。
 - ・端子台には極性はありません。
 - ・リモコン端子台に示してあります記号のA, Bに接続します。
 - ②グループ運転する場合
 - ・グループ運転する室内ユニットの総機のアドレスにリモコンのアドレスを合わせます。
 - ・総機アドレスはグループ内の最小アドレス番号を示します。
 - ・この総機アドレス番号+100にリモコンアドレスを設定します。
 - ③各室内ユニットまたは室内ユニットで構成するグループにリモコンは、主リモコンと従リモコンの2台が接続できます。
 - ・接続は①と同様です。
 - ・この場合、主リモコンと従リモコンのアドレス設定を必ず行ってください。
 - ・従リモコンの設定は、室内ユニットの総機アドレス+150となります。
- ▲注意** リモコン同士での渡り配線は禁止です。リモコンの端子台には配線1本しか接続できません。同一グループ内にMEリモコンとMAリモコンの併用接続はできません。
- ④ロスタイを連動させる場合は、リモコンで次の設定をしてください。(この場合の設定方法につきましては「6 グループ設定 連動設定」を参照ください。)
 - ・連動するグループ内の全ての室内ユニットと連動するロスタイを連動設定します。
- お願い** この場合、必ずグループ内全ての室内ユニットアドレスとロスタイアドレスを連動設定してください。設定しませんがロスタイは連動しません。

2. 異冷媒系統でグループリングする場合



- ①リモコンからの配線 (単一冷媒系統の場合と同じ)
- ②グループ運転する場合
 - ・グループ運転する室内ユニットの総機のアドレスにリモコンのアドレスを合わせます。
 - ・総機アドレスはグループ内の最小アドレス番号を示します。
 - ・この総機アドレス番号+100にリモコンアドレスを設定します。
- ③各室内ユニットまたは室内ユニットで構成するグループにリモコンは、主リモコンと従リモコンの2台が接続できます。 (単一冷媒系統の場合と同じ)
- ④ロスタイを連動させる場合は、単一冷媒系統と同じ設定をしてください。

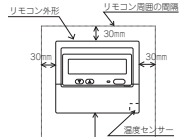
2

- ⑤異冷媒系統の場合グループ分け等の設定を各リモコンで行います。(詳細は「6 グループ設定 連動設定」の項目を参照ください。)
- ⑥但し、MELANSシステムコントローラが併用設置される場合、システムコントローラ側で、グループ設定・連動設定を行いますので、リモコンでの設定は不要です。
- ⑦異冷媒系統の場合の設定は、上記内容で終了です。

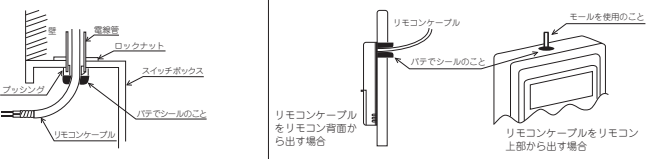
- ⑧異冷媒系統でグループリングする場合、1台の室外ユニットのみ、制御板上の給電切換コネクタ (CN41) を (CN40) に差し替えてください。
- ・MEリモコンのリモコンケーブルは現地手配となります。下記に示す仕様と相当する電線を用意してください。
- 電線仕様 (シールド線 CVVCS, CPVEVS, MVVS)
 - 1.25mm²のケーブルは10mを超える所から延長用としてお使いください。
 - φ10mm以内 0.3~0.75mm²の2芯ケーブル (MVVS)
 - φ10mmを超える部分 1.25mm²の2芯ケーブル (CVVCS, CPVEVS)
- リモコンの配線引き込みは最大1.25mm²の電線を過せず。ただし、作業上0.75mm²まで電線を推奨します。

4 据付方法

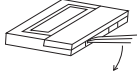
1. リモコン (スイッチボックス) の据付位置を決めてください。
ただし、下記の事項を必ず守ってください。
 - (1) 温度センサはリモコンと室内ユニットの両方に付いていますが、リモコンの温度センサを使用する場合、リモコンに設定したリモコンにて室温を検知します。主リモコンは部屋の平均的な室温を検知できる場所で、直射日光やエアコンの吹き出し空気や直接当たらないなど熱源の影響を受けにくい所に据付けてください。
 - (2) スイッチボックス、壁どちらに据付ける場合でも右図に示すスペースを確保してください。(ただし、スケジューラタイマー併用時にはスケジューラタイマーの据付説明書を合わせてご覧ください。)



2. 露、水、コブクリ、虫などの侵入防止のためリモコンケーブル引込口をパテで確実にシールしてください。
 - ・スイッチボックスを使用する場合
 - ・スイッチボックスに据付けた場合はスイッチボックスと電線電管の結合部をパテでシールしてください。
 - ・壁に直接据付ける場合
 - ・壁に穴を開けリモコンケーブルを通す場合 (リモコンケーブルをリモコン側面から出す場合) その穴をパテでシールしてください。
 - ・上カバーの切り取った部分よりリモコンケーブルを通す場合は上カバーの切り取った部分を同様シールしてください。
 - ・リモコンケーブルを壁面で引出す場合はモールを使用してください。



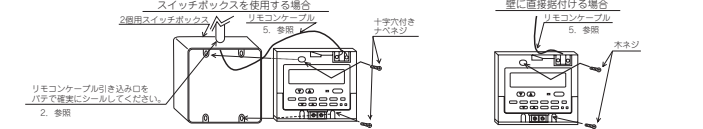
3. リモコン本体のカバーを外します。
 - ・マイナスドライバーを爪にはめ込み矢印方向に動かします。



▲注意 ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。爪がこわれてしまうことがあります

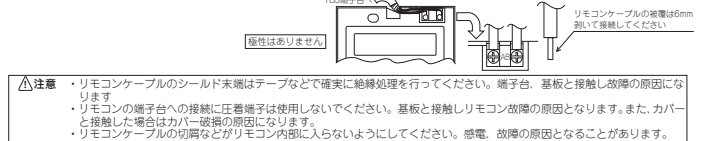
3

4. 下ケースをスイッチボックスまたは壁に据付けます。



- ▲注意** ネジを締めすぎないでください。下ケースの変形、割れの原因になります。
- お願い**
 - ・据付け面は平らな所をお選びください。
 - ・スイッチボックスまたは壁への据付けは必ず2ヶ所以上を固定してください。
 - ・再度、壁へ取付の際は、モリロンカーナードを使用し、確実に固定してください。

5. リモコンケーブルを本体の端子台に接続します。



- ▲注意**
 - ・リモコンケーブルのシールド末端はテープなどで確実に絶縁処理を行ってください。端子台、基板と接触し故障の原因になります。
 - ・リモコンの端子台への接続に任意端子は使用しないでください。基板と接触しリモコン故障の原因となります。また、カバーと接触した場合カバー破損の原因になります。
 - ・リモコンケーブルの切端部分がリモコン内部に入らないようにしてください。感電、故障の原因となることがあります。

6. ロータリースイッチでリモコンのアドレスを設定します。

主リモコン / 従リモコン	アドレス設定範囲	設定方法
主リモコン 101~150	101~150	同一グループ内の最も若い室内ユニット総機アドレス+100に設定してください
従リモコン 151~200	151~200	同一グループ内の最も若い室内ユニット総機アドレス+150に設定してください

ロータリースイッチのアドレス設定

ロータリースイッチの設定	アドレスNo.
01~99	100を付加した数字で「101~199」
00	200

▲注意 アドレス設定時は、精密ドライバー(φ2.0mm(w))を使用し、印加荷重は19.6N未満で操作してください。上記の方法で操作するとロータリースイッチがこわれてしまうことがあります。

お知らせ MEリモコンで設定できるアドレスNo.は101~200までです。100の値は「01~99」に設定時「1」に、「00」に設定時「2」に自動的に固定されます。工場出荷時、ロータリースイッチは01に設定してあります。

7. 壁などに直接リモコンを据付ける場合の配線穴 (露出配線の場合)

- ・カバーの内装内部部 (斜線部) をナイフ、ニッパーなどで切り取ってください。
- ・端子台に接続するケーブルをこの部分から入れます。

8. 本体にカバーをはめ込みます。

- ・上側爪(2ヶ所)を先に掛けて、右図のように本体にはめ込みます。

▲注意 「パチッ」と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはまっていない場合、落下の恐れがあります。

お願い ・操作部には保護シートが貼ってあります。ご使用の際は、保護シートをはがしてください。

5 別売部品の接続

- ・スケジューラタイマーを接続する場合、本体のコネクタに5芯ケーブルを接続してください。(5芯ケーブルはスケジューラタイマーに付属されています。)
- ・ケーブルを通すため、カバー内装内部部を切り取ってください。
- ・配線経路の都合上、スケジューラタイマーはリモコンの左側に据付けます。このためスケジューラタイマーを増設する予定がある場合、リモコンスペースを考慮して設置してください。
- ・なお詳しい据付方法についてはスケジューラタイマーの据付説明書をご覧ください。



4

6 グループ設定、連動設定

異冷媒系組間でグループの設定をする場合や、室内外自動アドレス上げを行う場合、この操作を行います。

- (A) グループ設定…リモコンでコントロールする室内ユニットの登録、登録した内容の検索、登録抹消を行います。
- (B) 連動設定…室内ユニットと連動させるロンスナイの登録、登録した内容の検索、登録抹消を行います。

操作手順

(1) アドレス登録

リモコンで連動操作する室内ユニットを登録します。

- ①電源投入時の「HO」点滅画面あるいは「連動(停止)」ボタンで停止画面にします。液晶画面は下図となり、どちらかの画面と異なる場合は操作ができません。

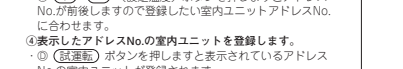


(A) グループ設定の場合

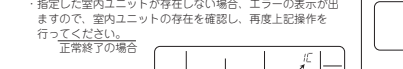
- ②「グループ設定」画面を表示させます。
- ①「(フリルター)」と②「(ルーバ)」ボタンを同時に2秒押ししますと下図の表示になります。



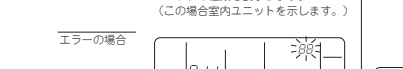
- ③アドレスNo.を合わせます。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますとアドレスNo.が前後しますので登録したい室内ユニットアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと表示されているアドレスNo.の室内ユニットが登録されます。正常に登録されますと下図のようにユニットの種類を表示します。



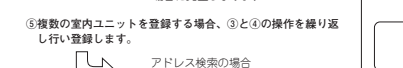
- 指定した室内ユニットが存在しない場合、エラーの表示が出ますので、室内ユニットの存在を確認し、再度上記操作を行ってください。



- ④複数の室内ユニットを登録する場合、③と④の操作を繰り返して登録します。



- ⑤「(グループ設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押しますと下図の表示になります。もういちど押しすると②の「グループ設定画面」に戻ります。



- ⑥「(連動設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押しますと下図の表示になります。もういちど押しすると②の「グループ設定画面」に戻ります。



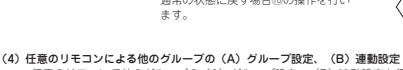
- ⑦室内ユニットアドレスNo.とそれと連動するロンスナイのアドレスNo.を表示させます。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



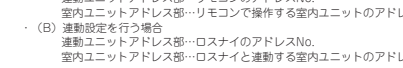
- ⑧ロンスナイを室内ユニットに連動させるための登録を行います。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと下図のような表示になり「室内ユニットアドレス部」で示しているロンスナイと「連動ユニットアドレス部」で示しているロンスナイとが連動されます。
 - 上記内容は「室内ユニットアドレス部」にロンスナイアドレスを、「連動ユニットアドレス部」に室内ユニットのアドレスを表示させても同様に表示されます。



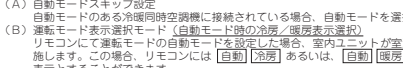
- ⑨「(連動切換)」ボタンを押しますと下図の表示になります。登録エラーの場合「88」が表示されますので、エラーの原因を確認し、再度上記操作を行ってください。



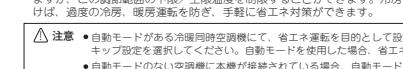
- ⑩複数の室内ユニットを登録する場合、⑧と⑨の操作を繰り返して登録します。



- ⑪「(グループ設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと②の「グループ設定画面」に戻ります。



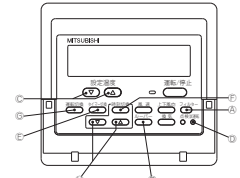
- ⑫「(連動設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと②の「グループ設定画面」に戻ります。



- ⑬室内ユニットアドレスNo.とそれと連動するロンスナイのアドレスNo.を表示させます。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



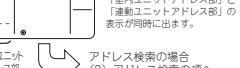
- ⑭ロンスナイを室内ユニットに連動させるための登録を行います。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと下図のような表示になり「室内ユニットアドレス部」で示しているロンスナイと「連動ユニットアドレス部」で示しているロンスナイとが連動されます。
 - 上記内容は「室内ユニットアドレス部」にロンスナイアドレスを、「連動ユニットアドレス部」に室内ユニットのアドレスを表示させても同様に表示されます。



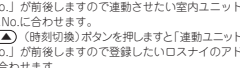
- ⑮「(グループ設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと②の「グループ設定画面」に戻ります。



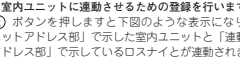
- ⑯「(連動設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと②の「グループ設定画面」に戻ります。



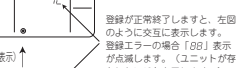
- ⑰室内ユニットアドレスNo.とそれと連動するロンスナイのアドレスNo.を表示させます。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



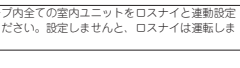
- ⑱ロンスナイを室内ユニットに連動させるための登録を行います。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと下図のような表示になり「室内ユニットアドレス部」で示しているロンスナイと「連動ユニットアドレス部」で示しているロンスナイとが連動されます。
 - 上記内容は「室内ユニットアドレス部」にロンスナイアドレスを、「連動ユニットアドレス部」に室内ユニットのアドレスを表示させても同様に表示されます。



- ⑲「(連動切換)」ボタンを押すと⑲の「グループ設定画面」に戻ります。



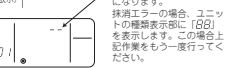
- ⑳「(連動設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと⑲の「グループ設定画面」に戻ります。



- ㉑室内ユニットアドレスNo.とそれと連動するロンスナイのアドレスNo.を表示させます。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



- ㉓ロンスナイを室内ユニットに連動させるための登録を行います。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと下図のような表示になり「室内ユニットアドレス部」で示しているロンスナイと「連動ユニットアドレス部」で示しているロンスナイとが連動されます。
 - 上記内容は「室内ユニットアドレス部」にロンスナイアドレスを、「連動ユニットアドレス部」に室内ユニットのアドレスを表示させても同様に表示されます。



- ㉓「(連動切換)」ボタンを押すと㉓の「グループ設定画面」に戻ります。



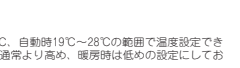
- ㉔「(連動設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと㉓の「グループ設定画面」に戻ります。



- ㉕室内ユニットアドレスNo.とそれと連動するロンスナイのアドレスNo.を表示させます。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



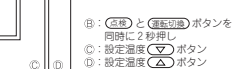
- ㉗ロンスナイを室内ユニットに連動させるための登録を行います。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと下図のような表示になり「室内ユニットアドレス部」で示しているロンスナイと「連動ユニットアドレス部」で示しているロンスナイとが連動されます。
 - 上記内容は「室内ユニットアドレス部」にロンスナイアドレスを、「連動ユニットアドレス部」に室内ユニットのアドレスを表示させても同様に表示されます。



- ㉗「(連動切換)」ボタンを押すと㉗の「グループ設定画面」に戻ります。



- ㉘「(連動設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと㉗の「グループ設定画面」に戻ります。



- ㉙室内ユニットアドレスNo.とそれと連動するロンスナイのアドレスNo.を表示させます。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



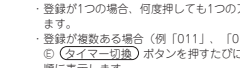
- (C) 通常の状態に戻す場合
- グループ設定、あるいは連動設定で各種操作が終了した場合、下記操作により、通常の状態に戻します。
- ①「(フリルター)」と②「(ルーバ)」ボタンを同時に2秒押ししますと①の状態に戻ります。

- (2) アドレス検索
- リモコンに登録してある室内ユニットのアドレスNo.を表示します。
- ①、②の操作を行います。

- (A) グループ設定情報検索の場合
- ①「(グループ設定)」画面を表示させます。
 - ②「(タイマー切換)」ボタンを押すと③の「グループ設定画面」に戻ります。



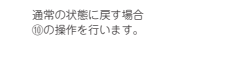
- ③「(グループ設定)」画面を表示させます。
- ①「(タイマー切換)」ボタンを押すと②の「グループ設定画面」に戻ります。



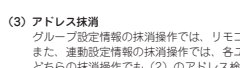
- ④「(連動設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと⑤の「グループ設定画面」に戻ります。



- ⑤室内ユニットアドレスNo.とそれと連動するロンスナイのアドレスNo.を表示させます。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



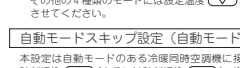
- ⑦ロンスナイを室内ユニットに連動させるための登録を行います。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと下図のような表示になり「室内ユニットアドレス部」で示しているロンスナイと「連動ユニットアドレス部」で示しているロンスナイとが連動されます。
 - 上記内容は「室内ユニットアドレス部」にロンスナイアドレスを、「連動ユニットアドレス部」に室内ユニットのアドレスを表示させても同様に表示されます。



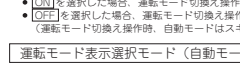
- ⑦「(連動切換)」ボタンを押すと⑦の「グループ設定画面」に戻ります。



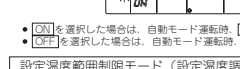
- ⑧「(連動設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと⑦の「グループ設定画面」に戻ります。



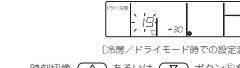
- ⑨室内ユニットアドレスNo.とそれと連動するロンスナイのアドレスNo.を表示させます。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



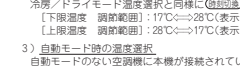
- ⑪ロンスナイを室内ユニットに連動させるための登録を行います。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと下図のような表示になり「室内ユニットアドレス部」で示しているロンスナイと「連動ユニットアドレス部」で示しているロンスナイとが連動されます。
 - 上記内容は「室内ユニットアドレス部」にロンスナイアドレスを、「連動ユニットアドレス部」に室内ユニットのアドレスを表示させても同様に表示されます。



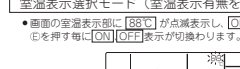
- ⑪「(連動切換)」ボタンを押すと⑪の「グループ設定画面」に戻ります。



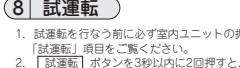
- ⑫「(連動設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと⑪の「グループ設定画面」に戻ります。



- ⑬室内ユニットアドレスNo.とそれと連動するロンスナイのアドレスNo.を表示させます。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



- ⑮ロンスナイを室内ユニットに連動させるための登録を行います。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと下図のような表示になり「室内ユニットアドレス部」で示しているロンスナイと「連動ユニットアドレス部」で示しているロンスナイとが連動されます。
 - 上記内容は「室内ユニットアドレス部」にロンスナイアドレスを、「連動ユニットアドレス部」に室内ユニットのアドレスを表示させても同様に表示されます。



- ⑮「(連動切換)」ボタンを押すと⑮の「グループ設定画面」に戻ります。



- ⑯「(連動設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと⑮の「グループ設定画面」に戻ります。

- ⑰上記①、②を繰り返し、グループ内全ての室内ユニットとロンスナイを連動登録します。

- 通常の状態に戻す場合
- ⑱の操作を行います。

- アドレス検索の場合
- (2) アドレス検索の項へ

- (B) 連動設定情報検索の場合
- ⑱の操作を行った後、以下のようにします。

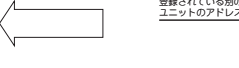
- ⑲検索したい室内ユニットのアドレスNo.を表示させます。
- ①「(タイマー切換)」ボタンを押すと⑲の「グループ設定画面」に戻ります。



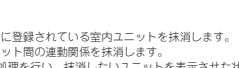
- ⑳「(グループ設定)」画面を表示させます。
- ①「(タイマー切換)」ボタンを押すと㉑の「グループ設定画面」に戻ります。



- ㉑「(連動設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと㉒の「グループ設定画面」に戻ります。



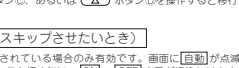
- ㉒室内ユニットアドレスNo.とそれと連動するロンスナイのアドレスNo.を表示させます。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



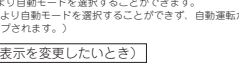
- ㉔ロンスナイを室内ユニットに連動させるための登録を行います。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと下図のような表示になり「室内ユニットアドレス部」で示しているロンスナイと「連動ユニットアドレス部」で示しているロンスナイとが連動されます。
 - 上記内容は「室内ユニットアドレス部」にロンスナイアドレスを、「連動ユニットアドレス部」に室内ユニットのアドレスを表示させても同様に表示されます。



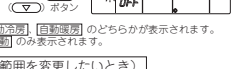
- ㉔「(連動切換)」ボタンを押すと㉔の「グループ設定画面」に戻ります。



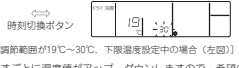
- ㉕「(連動設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと㉔の「グループ設定画面」に戻ります。



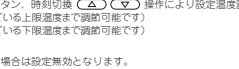
- ㉖室内ユニットアドレスNo.とそれと連動するロンスナイのアドレスNo.を表示させます。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



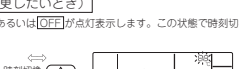
- ㉘ロンスナイを室内ユニットに連動させるための登録を行います。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと下図のような表示になり「室内ユニットアドレス部」で示しているロンスナイと「連動ユニットアドレス部」で示しているロンスナイとが連動されます。
 - 上記内容は「室内ユニットアドレス部」にロンスナイアドレスを、「連動ユニットアドレス部」に室内ユニットのアドレスを表示させても同様に表示されます。



- ㉘「(連動切換)」ボタンを押すと㉘の「グループ設定画面」に戻ります。



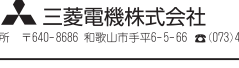
- ㉙「(連動設定)」画面を表示させます。
- ①「(連動切換)」ボタンを押すと㉘の「グループ設定画面」に戻ります。



- ㉚室内ユニットアドレスNo.とそれと連動するロンスナイのアドレスNo.を表示させます。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



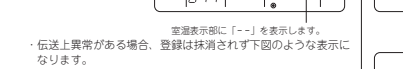
- ㉜ロンスナイを室内ユニットに連動させるための登録を行います。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと下図のような表示になり「室内ユニットアドレス部」で示しているロンスナイと「連動ユニットアドレス部」で示しているロンスナイとが連動されます。
 - 上記内容は「室内ユニットアドレス部」にロンスナイアドレスを、「連動ユニットアドレス部」に室内ユニットのアドレスを表示させても同様に表示されます。



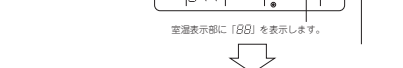
- ㉜「(連動切換)」ボタンを押すと㉜の「グループ設定画面」に戻ります。

(A) グループ設定情報抹消の場合

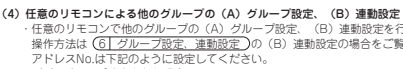
- 正常終了の場合
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので登録したい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



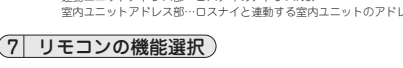
- 伝送上異常がある場合、登録は抹消されず下図のような表示になります。
- この場合上記操作をもう一度行ってください。



- エラーの場合
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので登録したい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



- 通常の状態に戻す場合⑱の操作を行います。



(B) 連動設定情報抹消の場合

- 抹消が正常に終了しますと、ユニットの種類が「-」になります。
- ①「(設定温度)」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレス部」が前後しますので登録したい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
 - ②「(設定温度)」ボタンを押しますと「連動ユニットアドレス部」が前後しますので登録したいロンスナイのアドレスNo.に合わせます。



- 抹消エラーの場合、ユニットの種類が「88」が表示されます。
- この場合上記操作をもう一度行ってください。



- 通常の状態に戻す場合⑱の操作を行います。

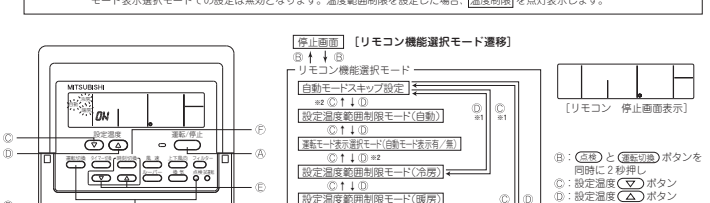


7 リモコンの機能選択

- リモコン機能選択モードでは4種類の機能を設定変更できます。必要に応じ、設定変更をしてください。

- (A) 自動モードスキップ設定
- 自動モードのある冷気同時空調機に接続されている場合、自動モードを選択不可にすることがあります。
- (B) 運転モード表示選択モード(自動モード時の冷房/暖房表示選択)
- リモコンにて運転モードの自動モードを設定した場合、室内ユニットが室温から判断し、自動的に冷房運転あるいは、暖房運転を実施しますが、この場合、リモコンには「自動」表示しますが、「冷房」「暖房」を表示せず、「自動」のみの表示とすることができます。
- (C) 室温表示選択モード(室温表示/非表示選択)
- リモコンには、室温表示を「ON」あるいは「OFF」で表示させないよう設定できます。
- (D) 設定温度範囲制限モード
- 通常、標準空調機の設定温度調節範囲は冷房、ドライ時19℃～30℃、暖房時17℃～28℃、自動時19℃～28℃の範囲で温度設定できますが、この調節範囲の下限・上限温度を制限することができます。冷房、ドライ時は通常より高い、暖房時は低めの設定にしてあげれば、過度の冷房、暖房運転を防ぎ、手軽に省エネ対策ができます。

- 注意
- 自動モードがある冷気同時空調機にて、省エネ運転を目的として設定温度範囲制限を行う場合は、自動モードスキップ設定にスキップ設定を選択してください。自動モードを使用した場合、省エネ運転にならない場合があります。
 - 自動モードのない空調機に本機が接続されている場合、自動モードスキップ設定モード(自動)、運転モード表示選択モードでの設定は無効となります。温度範囲制限を設定した場合、「温度範囲」が点灯表示します。

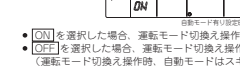


- ①自動モードスキップ設定
- ②運転モード表示選択モード
- ③室温表示選択モード
- ④設定温度範囲制限モード

操作手順

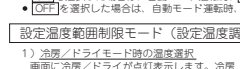
- リモコンの電源/停止ボタンで空調機を停止の状態にします。リモコンの表示は、停止画面表示になります。
- ①「(設定温度)」と②「(ルーバ)」ボタンを同時に2秒押ししますと、リモコン機能選択モードに移行し、「自動モードスキップ設定」画面が表示されます。その他の4種類のモードには設定温度(設定温度)ボタン、あるいは(設定温度)ボタンの操作と移行できますので、機能を変更したいモードを表示してください。

- 自動モードスキップ設定(自動モードをスキップさせたいとき)
- 本設定は自動モードのある冷気同時空調機に接続されている場合のみ有効です。画面に「自動」が点滅表示し「ON」あるいは「OFF」が点灯表示します。時刻切換(時刻切換)ボタンを押すと、「ON」「OFF」表示が切り替わります。



- 「ON」を選択した場合、運転モード切替操作により自動モードを選択することができます。
- 「OFF」を選択した場合、運転モード切替操作により自動モードを選択することができず、自動運転ができません。(運転モード切替操作時、自動モードはスキップされます。)

- 運転モード表示選択モード(自動モード表示を変更したいとき)
- 自動モードのない空調機に本機が接続されている場合は設定無効となります。
 - 画面に「自動」が点灯表示し、「ON」あるいは「OFF」が点灯表示します。この状態で時刻切換(時刻切換)ボタンを押すと「ON」「OFF」表示が切り替わります。



- 「ON」を選択した場合は、自動モード運転時、「自動冷房」「自動暖房」のどちらかが表示されます。
- 「OFF」を選択した場合は、自動モード運転時、「自動」のみ表示されます。

設定温度範囲制限モード(設定温度調節範囲を変更したいとき)